

MEIJI
GAKUIN
UNIVERSITY



明治学院大学

マスコミ関係各位

2017年4月28日

明治学院大学キリスト教研究所主催・国際平和研究所 (PRIME) 後援 公開講演会 戦没者遺骨収集と辺野古新基地建設問題

5月12日(金) 白金キャンパスにて開催 ※参加費無料・事前申込み必要

明治学院大学キリスト教研究所と国際平和研究所 (PRIME) は、公開講演会「戦没者遺骨収集と辺野古新基地建設問題」を5月12日(金)に白金キャンパスで開催します。

新基地建設が始まった沖縄県名護市の辺野古。そこにはまだ多くの戦没者の遺骨が国による調査収集もされず放置されているといわれています。このことは東京ではほとんど知られていません。34年間かけて途方もない数の沖縄戦犠牲者の遺骨を掘り、身元調査をし、遺族に遺骨を届ける活動をしてきた具志堅氏は、発掘された遺骨の状況から沖縄戦の現実を丁寧に語ってきました。2013年に辺野古埋め立てが承認されたことで、新たな戦争へと繋がる基地建設は生き続けたかった犠牲者の死を無駄にすることになると同氏は訴え続けています。本土に住む私たちはこの現実はどう答えればよいのか、来場者の皆様とともに考えていきます。

ぜひ、本イベントの告知および取材をご検討ください。どうぞよろしくお願いいたします。

公開講演会「戦没者遺骨収集と辺野古新基地建設問題」

■日時：2017年5月12日(金) 15:30~17:30 (開場 15:00)

■場所：明治学院大学白金キャンパス 本館8階81会議室 (〒108-8636 東京都港区白金台1-2-37)

■プログラム：<講演>「戦没者遺骨収集と辺野古新基地建設問題」 具志堅 隆松氏 <質疑応答>

<講演者経歴> 具志堅 隆松(ぐしけん・たかまつ)氏(沖縄戦遺骨収集ボランティア「ガマフヤー」代表)

1954年那覇市生まれ。ボーイスカウトをしていた28歳の頃本土から来た遺骨収集団に誘われ、はじめて遺骨収集に関わる。2011年度吉川英治文化賞を受賞。2016年成立の戦没者遺骨収集推進法の整備に尽力する。沖縄戦遺骨収集ボランティア「ガマフヤー」代表、沖縄大学地域研究所特別研究員、日本キリスト教団うるま教会教会員。

著作『ぼくが遺骨を掘る人「ガマフヤー」になったわけ。:サウキビの島は戦場だった』合同出版、2012年

■司会：植木 献(明治学院大学 教養教育センター准教授)

■参加費：無料 ■定員：50名

■申込み：必要 (氏名・連絡先・所属をメールかFAXにてお申込みください。一般の方の参加も可能です。

/ 申込み〆切:5月9日(火))

■主催：明治学院大学キリスト教研究所 / 国際平和研究所 (PRIME) 後援

■お問合せ先：明治学院大学キリスト教研究所

(TEL) 03-5421-5210

(FAX) 03-5421-5214

(E-mail) kiriken@chr.meijigakuin.ac.jp

取材のお問合せは…明治学院大学 総合企画室広報課 担当:濱口・圓道

〒108-8636 東京都港区白金台1-2-37

Tel:03-5421-5165(直通) Fax:03-5421-5185

koho@mguad.meijigakuin.ac.jp http://www.meijigakuin.ac.jp